

# 大 盤 石

八王子市立四谷中学校  
学校だより  
令和7年7月15日



<http://hachioji-school.ed.jp/yotyj/>

## 将来について考えましょう

校長 長田 克

これはある高校の先生の言葉です。皆さんは、社会的・職業的自立が必要です。究極的に、いつかは働かなければなりません。将来、働くことが分かっている以上、できるだけ自分の興味や関心、己の適性がある就職が望ましいでしょう。そうでないと、苦しみが多くなって続きません。どの職業を選んでも喜びと苦勞はつきものですが、自分の適性や能力に基づいて選択したならば、苦勞も乗り越えようと頑張れます。となると「とりあえず高校は入れればいい」とか「友達が行くから行く」、「制服がかわいいから行く」では、高校等への進学目的が弱いと思います。特に勉強が嫌いな生徒は、仮に普通科の高校にいったら、中学校の繰り返しのようでしかも勉強が難しくなり辛くなるのではないのでしょうか。辛い3年間は苦痛でしかなく、退学してしまうかもしれません。こうなっては色々な意味においてもったいない話です。退学を避けるためには高校の先にある将来の目的（生き方）や目標（目指したい職業等）を定め、これを実現するために必要な高校等を選択することが必要です。

「東京には高校等が星の数ほどある。」と言われますが、どれ1つとして同じ高校等はありません。普通科以外にも専門学科（科学技術、食物、ビジネスなど）を置く高校等がたくさんあります。星のように自分が輝くための高校等をぜひ選択してください。その上で、その高校等に入るための成績等を知るべきです。そして、現状の学力を照てらし合わせ、不足しているのであれば、この夏休みから努力していく必要があります。皆さんは若いので将来の生き方・職業選択や高校等の選択は決定しても変えることは可能です。いちばん避けなければいけないのは、決めないことや考えないことです。仮決定で良いので先生やお家の方等と話し合ってみてください。これは3年生だけにいえることではありません。さすがに1・2年生の段階では、具体的な高校等は決められないことの方が多いと思いますが、それでも高校等の種類やジャンルを知って、きたる3年生に備えることは有意義なことです。進路に目覚めることは、早ければ早いほど良いです。

## ◎ 1 学期を振り返りましょう

あと数日で1学期が終わろうとしています。常々お話をしている目標を立てて学校生活を送ってほしい。どうですか。目標にもよりますが、「100%順調です」という人はあまりいないのではないのでしょうか。多くの方が、計画通りに行かずに悩んだり、4月の勢いや気持ちが薄れたりしているのではないのでしょうか。もっと最悪のことは目標を覚えていない。目標や決意というのは、現状より少し上を目指したものですから、簡単ではないはず。それでも、何も目標を持たずに生活するよりは何倍も良いことです。目標があることで、今の自分の状況を比べ、考えることができます。また、足りないかもしれませんが、成長も見られるはず。す。

大切なことは、目標や計画を立てたら、ときどき見直し修正していくことです。それは、大人の仕事でも同じです。前にもお話ししたかもしれませんが、これをPDCAといいます。Pはプラン、計画をたてることです。Dはドゥ、実行することです。Cはチェック、振り返り評価することです。Aはアクション、評価に基づき、計画や実行することの改善を図ることを指します。PDCAはこのサイクルを繰り返しながら、より良い仕事や活動ができるようにしていく方法です。今一度、自分自身の1学期を振り返ってみてください。

### 不登校をテーマとした保護者サロン

不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を開催します。  
希望者は夜間学級の実際の授業が見学できます。  
どうぞお気軽にご参加ください。

1. 対象 市内在住で小・中学生の保護者
2. 日時 9月26日（金） 午後5時45分から午後8時頃
3. 会場 八王子市立第五中学校
4. 内容 (1) 講演 不登校の子どもたちが活用できる本市の資源  
～中学校卒業後の進路という視点から～  
講師 八王子市スクールソーシャルワーカー  
(2) 第五中学校夜間学級の説明および見学  
講師 第五中学校長ほか

5. 定員 30名(先着順)

6. 受付開始日 令和7年9月1日（月）

こちらの2次元コードからお申し込みください。インターネット環境がない場合は電話による申し込みも可能です。下記の電話へご連絡ください。



7. 問合せ・電話での申し込み

高尾山学園内 教育指導課登校支援担当電話：663-3216

8. その他 会場に駐車スペースはありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。